

今月の管内農業情報(田原農業改良普及課)

[2017年3月1日]

2月の農業情報

タイトル トマトの施設内環境を考える

とき 平成29年1月16日(月)

ところ 田原市現地及び田原農業改良普及課会議室

主体・対象 トマト生産農家(4名)

内容

あいち型植物工場推進事業を活用して、トマト生産農家5名が環境測定装置と炭酸ガス発生装置を導入し、平成28年12月から施設内環境の制御を始めた。

平成29年1月16日にグループの研究会を開催し、トマトの生育状況と炭酸ガスの施用方法、加温や換気の設定を確認しながら各グループ員のほ場を巡回した。その後の研修会で農業改良普及課から、環境測定項目の説明と、温度管理とトマトの生育との関係について説明を行った。

巡回したほ場間の測定値を互いに比較することで、炭酸ガス濃度や温度、湿度(飽差)の違いが確認できた。グループ員からは、炭酸ガスの施用方法、1日の温度管理や飽差と生育の様相について質問や発言が多く出され、活発な研究会となった。

農業改良普及課では、環境管理とトマトの生育とを照らし合わせて検討することで、農家の収量目標や施設の違いに対応した環境管理技術の普及を進めている。